

《放射線科》

スタッフ紹介

診療科部長



《**宍戸 文男**》
(教授)

| 氏名 | 職名 | 専門分野 |
|-------|----|--------------------------|
| 宍戸 文男 | 教授 | 脳神経画像診断、放射線治療 |
| 橋本 直人 | 講師 | 放射線画像診断 (胸腹部 CT, MRI 診断) |
| 佐藤 久志 | 助教 | 放射線治療 (定位放射線照射) |
| 本荘 浩 | 助教 | IVR (CT 下針生検)、放射線画像診断 |
| 宮崎 真 | 助手 | IVR (血管撮影)、放射線画像診断 |
| 長谷川 靖 | 助手 | 放射線画像診断 |
| 為田 忠信 | 助手 | 放射線画像診断、IVR (血管撮影) |
| 湯川 亜美 | 助手 | 放射線治療 (定位放射線照射) |

診療科の紹介とアピール

放射線科では CT, MRI, 核医学検査等の画像診断法を用いた疾病の診断、これらの検査法の手技を応用した非侵襲的な治療法 (Interventional Radiology: IVR)、および放射線治療を行っています。これらの一般的な放射線科診療の中で、特に、以下のような特徴的な専門外来を設けていますので、適応と思われる患者様がおられましたら、是非、ご紹介ください。

画像診断外来 (火曜日、木曜日) : 放射線を使った画像診断法は、現在の診療に果たす役割は大きく、その比重も増加しています。当科では従来のレントゲン写真に加えてコンピュータ断層装置 (CT)、磁気共鳴画像装置 (MRI)、核医学診断装置、超音波断層装置 (US) などを駆使して、様々な疾患の画像診断を行なっています。当院で行われた画像検査には診断レポートを作成していますので、画像診断が必要な場合には当科にご紹介ください。また、他院で撮影された画像についても必要な場合には読影を行うことにしています。

放射線治療外来 (火曜日、木曜日) : 放射線治療は全身のあらゆる部位の癌の治療に用いられています。治療目的、治療期間、併用療法なども様々で、副作用の内容や程度も非常に違いがありますので、適応が考えられましたら、ご紹介ください。放射線治療は外来通院での治療も可能ですが、入院が必要なこともあります。各診療科に入院して放射線治療を行う場合もありますが、当科の病床に入院して放射線治療を受けることも可能です。特に、当科では、放射線治療の中でも効果の高い定位放射線照射に力を注いでいます。

IVR (血管撮影) 外来 (月曜日) : 低侵襲治療法として、血管撮影法で用いるカテーテルを使った、IVR と呼ばれる治療法を行っています。対象となる疾患は、肺、肝臓、子宮などの腫瘍性病変および血管性病変、下肢の閉塞性動脈硬化症、動静脈奇形など多岐に渡っています。疾患によっては手術と同等の治療効果が得られることがあります。「手術を勧められたけど、もっと侵襲の少ない治療がないだろうか?」といわれる患者様をご紹介ください。

IVR (CT 下生検) 外来 (火曜日) : 気管支内視鏡で診断が出来なかった場合について、肺癌の確定診断のために、CT 透視を行いながらの針生検を行う診断法を行っています。放射線科への短期の入院で行っています。

核医学診断外来 (金曜日) : 癌の転移検索や脳血流量の測定、心機能測定など各種核医学診断を行っています。他施設からの検査依頼を受けていますので、当科にご紹介ください。

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--|----------------|--------------------------------------|---|--------------------|---------|
| | I V R 外来（血管撮影） | 画像診断外来、 放射線治療外来、 I V R 外来（針生検） | | 放射線治療外来、 画像診断外来 | 核医学診断外来 |

診療の詳細案内

| 病名・病態 | 必要な診療 | 当科の対応方法 |
|------------------------------|---|---|
| 肺癌検診で要精検に対する精査 | 胸部単純 X 線写真、CT、気管支内視鏡、 喀痰細胞診、CT 下生検、血液検査、など | 肺癌の確定診断のための一連の検査を行い、 病期を診断し、治療方針を決定します。CT 下生検以外は外来で可能ですが、1 週間程度 の入院で一連の検査を行うことも可能です。 |
| 乳癌、喉頭癌、食道癌、前 立腺癌、などの放射線治療 | 放射線治療、CT、MRI など | 放射線治療が適応である各種腫瘍性疾患の 放射線治療を行います。 |
| 転移性脳腫瘍の放射線治療 | 放射線治療（定位放射線照射）、脳造影 MRI など | 転移性脳腫瘍に対する定位放射線照射によ り、脳内の転移巣を治療します。定位手術的 照射、定位放射線治療、全脳照射、などの治 療法がありますが、MRI 画像により、転移の 状況に応じて治療法を選択します。 |
| 肺癌の放射線治療 | 放射線治療、CT、CT 下針生検など | 肺癌の病期に応じて、照射方法や照射線量、 併用療法を決めています。手術の不能な 1 期、2 期の肺癌には定位的照射を行うことも あります。 |
| 転移性骨腫瘍の放射線治療 | 放射線治療、骨シンチグラフィ、MRI など | 疼痛を伴う転移性骨腫瘍に疼痛緩和を目的 とした放射線治療を行います。 |
| 喀血の原因精査と I V R 治療 | 造影 CT、血管造影、など | 喀血の原因となる異常血管を診断し、I V R に て治療を行います。 |
| 虚血性脳血管障害の診断 | 脳血流 SPECT、CT、MRI など | 虚血性脳血管障害の手術適応を診断するた めの検査を行います。 |

放射線検査（CT, MRI, RI 検査）のみ希望される場合は、放射線科、核医学診療室にて検査
日時の調整をさせていただきますので、その旨を病病・病診連携担当にお申し出ください。なお、
お申し込み時点で検査依頼書に検査の内容、検査部位、診断名、症状・経過、アレルギー等の有無
等を記載していただき、同意書が必要な場合は患者さんから同意書をとっていただき、事前に FAX
で送付願います。